

SRC 自主調査の調査結果について

2022 第二回在留外国人総合調査 「在留外国人の保険・年金について」

■ 趣旨

- わが国では、在留外国人の受け入れに関して、出入国管理法が2018年12月に改正され、2019年4月から施行されています。この改正法は、在留資格「特定技能1号」「特定技能2号」の創設等を主とするもので、これにより多くの外国人の方と一緒に居住し、働く環境が整備されていくこととなります。一方で、こうした外国人を受け入れる「受入準備」や「人権意識」「多文化共生意識」等、課題を抱えています。また、外国人側も「日本の規範意識」「教育、言語、雇用、医療・保健・福祉、災害」等の知識も不足しているのが現状です。
- わが社では、これまで多くの自治体での「健康・介護・福祉・共生・観光・防災・教育」等の計画策定に携わっています。また、SDGsの理念の元、持続可能な社会を目指して、取り組む事業にもこれらの視点を含めています。こうした現状の中で、今後、生活を共にしていく「在留外国人」を対象とした総合的な調査を行うこととし、**2020年3月「第一回 在留外国人総合調査」**に引き続き、時系列調査として**2022年2月「第二回 在留外国人総合調査」**を実施いたしました。
- 今回は「在留外国人総合調査」の内、「**在留外国人の保険・年金について**」公表いたします。

■ 実施体制

- 調査主体 株式会社サーベイリサーチセンター
<https://www.surece.co.jp/contact/>
 SRC 情報総研

■ 調査実施概要

- 地域調査 全国
 但し、居住地は登録モニターの居住地に準じた。
- 調査方法 インターネット調査（インターネットリサーチモニターに対するクローズド調査）
- 調査対象 20歳以上男女モニター
 ※モニターはリンクオブアジアへの登録者105カ国約20,000人のパネルを活用。
 国別対象の設定は、2021年末法務省「国籍・地域別在留外国人数の推移」の構成比を参照し設定した。
- 調査項目 属性項目を含めて70問
- 有効回答 999人
- 調査内容 基本属性／右図参照
- 調査期間 2022年第二回調査
 2022年（令和4年）2月2日（水）配信開始～2月22日（火）調査終了

 参考：2020年第一回調査
 2020年（令和2年）3月27日（金）配信開始～4月17日（金）調査終了

< 設問の課題分類項目 >

主なテーマ	内容	SDGs
収入・貧困	・ 外国人の生活感と国内での境遇	1 貧困削減
保健・福祉	・ 外国人の保険(健)と健康と国内の社会システムへの適応 ・ 外国人の保証と国内の社会システムへの適応 ・ コロナウイルス感染症等の防疫対策	3 持続可能な開発目標
日本語対応・教育・いじめ	・ 外国人の教育環境といじめなどの課題及び国内の教育システムへの適応	4 質の高い教育をみんなに
ジェンダー・不平等・人権等	・ 外国人を含む共生や人権課題について	5 男女の平等と10 人や国の不平等をなくそう
雇用環境・就業	・ 外国人の就業環境と働きがい及び国内の就業システムへの適応	8 持続可能な成長
持続可能な都市	・ 外国人の住(コミュニティ)環境の課題や国内の居住及びコミュニティシステムへの適応 ・ 外国人を含む災害対策の在り方	11 持続可能な都市
平和	・ 外国人との共生や国内の法律システムへの適応	16 平和と公正

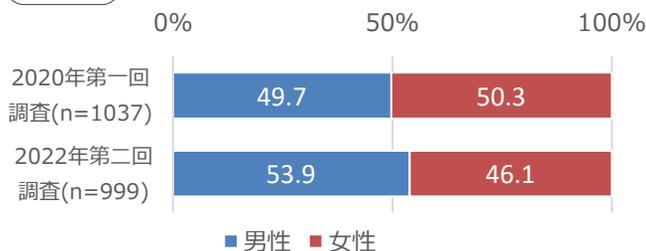
※各課題分類毎に順次レポートをリリースいたします。

■ 対象者属性

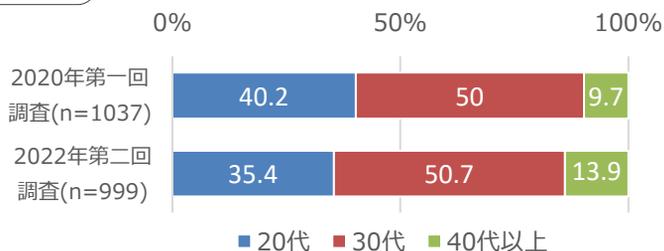
本調査の対象者の属性は下記に示します。

※ 性・年代・在留資格は「モニター」の登録属性に影響を受けているので、各種統計で公表されている割合等には合致しない。

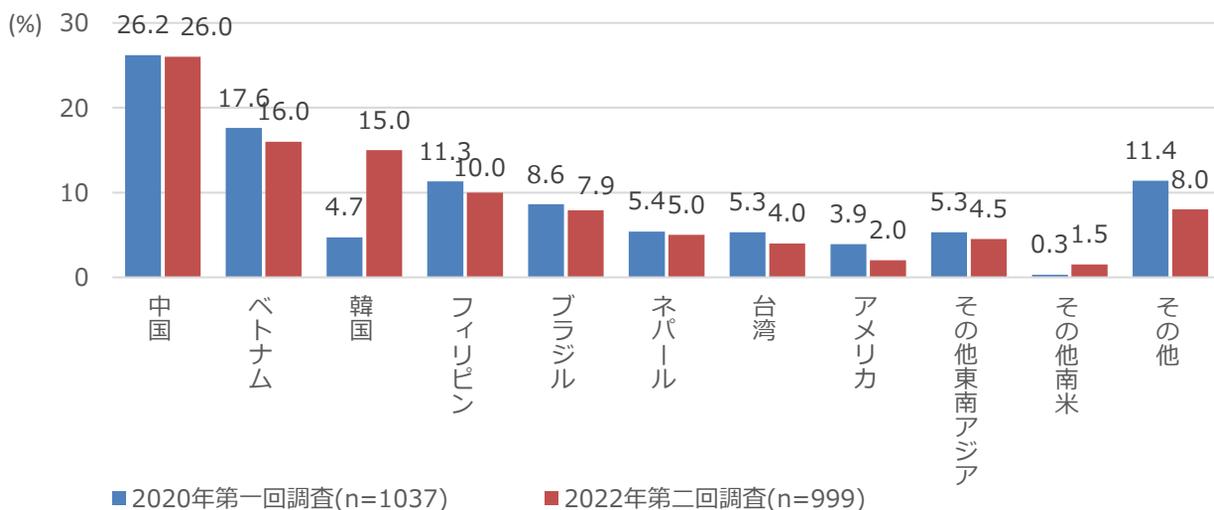
性別



年代

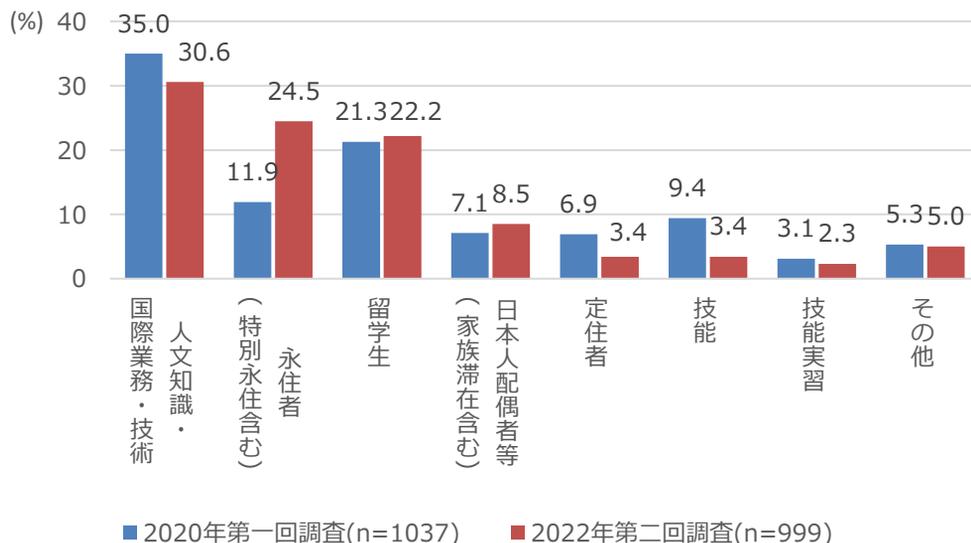


国籍統合



※ 国籍統合の国名は法務省「国籍・地域別在留外国人数の推移」統計の表記に合わせている。

在留資格統合



■ 調査結果のポイント

1 保険 “健康保険加入率96%、その他民間保険加入率53%、民間保険未加入者の4割は加入意向あり”

- 国民健康保険等の健康保険への加入率は全体で95.9%であるが、留学生では未加入・不明の割合が1割強と他に比べて高い。3か月を超えて日本に滞在する留学生は日本人と同じ国民健康保険へ加入する義務があることについて、一部の留学生で認識不足がある可能性も考えられる。
- 民間の各種保険への加入率は53.3%であり、第一回調査（2020年）に比べて、医療保険や生命保険、自動車保険等の民間保険に加入する人の割合が高まっている。また、居住期間が4年以上になると加入率が高まり、6割前後が加入している。
- 民間保険未加入者が加入していない理由は「費用が高い」が4割弱、「制度がわかりにくい」3割、「どの会社に相談すればよいかわからない」3割弱の順。また、未加入者の4割は今後加入したいと回答しており、3年以上居住者や留学生で他に比べて加入意向が高い。

2. 年金 “年金加入率78.8%、未加入理由として金銭的デメリットをあげる人の割合が高まる”

- 加入している年金は「厚生年金」4割、「国民年金」3割弱の順であり、全体の年金加入率は78.8%と第一回調査（2020年）から11.4ポイント上昇している。また、保険と同様に年金も居住期間が4年以上になると加入率が高まり、9割前後が加入している。
- 年金未加入者が加入していない理由は「近日帰国予定」3割弱、「金銭的負担大」3割弱、「制度がわからない」2割の順。第一回調査（2020年）に比べて年金加入による金銭的負担や脱退一時金の少なさ（※）といった、金銭的なデメリットに関する理由をあげる人の割合が高まっている。

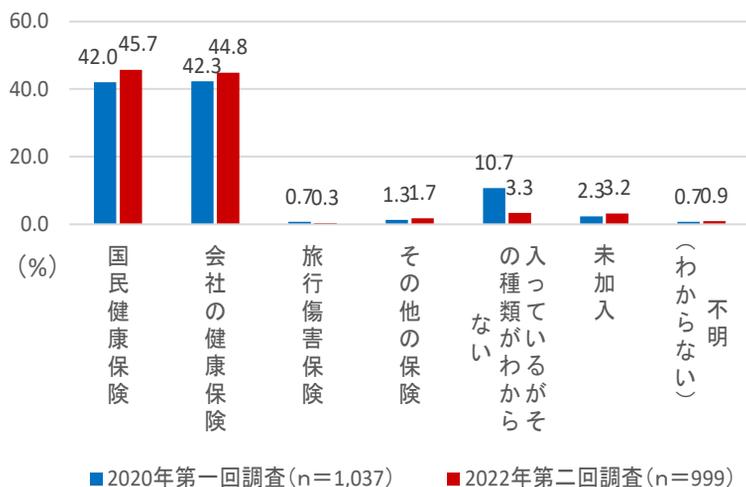
（※）脱退一時金については制度改正により2021年4月から支給上限が3年から5年へ見直し

■保険への加入

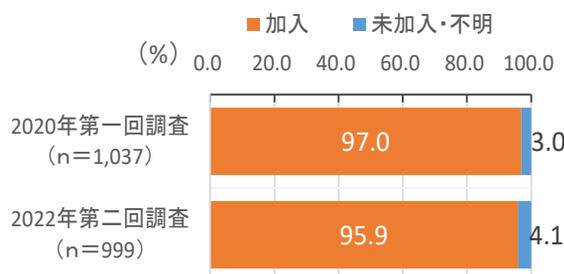
1 健康保険への加入状況

- 健康保険（けがや病気に備えた保険）の加入状況をみると、「国民健康保険」「会社の健康保険」がそれぞれ45%前後となっている。全体の加入率は第一回調査（2020年）・第二回調査（2022年）とも95%を超えており、未加入や不明（加入状況がわからない）は3~4%とごくわずかである。
- 居住期間別にみても、各層とも加入率90%超であるが、居住期間が長いほど加入率も高まり、10年以上居住者では98.6%とほぼ100%を占める。
- 在留資格別にみると、留学生で『未加入・不明』（12.7%）の割合が他に比べて高く、1割を超えている。

Q34 健康保険（けがや病気に備えた保険）への加入状況 [複数回答]



[加入・未加入（集約）]



居住期間別、在留資格別（2022年第二回調査）

	調査数 (n)	国民健康保険 (%)	会社の健康保険 (%)	旅行傷害保険 (%)	その他の保険 (%)	入っている種類がわからない (%)	入っていない (%)	わからない (%)	(再掲)		
									加入 (%)	未加入・不明 (%)	
全体	999	45.7	44.8	0.3	1.7	3.3	3.2	0.9	95.9	4.1	
居住期間	3年以内	229	60.7	27.1	0.0	2.2	3.5	5.7	0.9	93.4	6.6
	4~9年	562	48.8	42.2	0.4	0.9	3.7	3.4	0.7	95.9	4.1
	10年以上	208	21.2	71.6	0.5	3.4	1.9	0.0	1.4	98.6	1.4
	永住者(特別永住含む)	245	55.9	39.6	0.8	1.6	1.2	0.0	0.8	99.2	0.8
在留資格	留学生	222	73.0	8.1	0.0	0.5	5.9	12.2	0.5	87.3	12.7
	技能実習	23	17.4	65.2	0.0	0.0	13.0	4.3	0.0	95.7	4.3
	定住者	34	50.0	38.2	0.0	2.9	2.9	0.0	5.9	94.1	5.9
	日本人配偶者等(家族滞在含む)	85	50.6	44.7	0.0	1.2	3.5	0.0	0.0	100.0	0.0
	人文知識・国際業務・技術	306	19.6	74.5	0.0	2.3	2.0	0.7	1.0	98.3	1.7
	技能	34	38.2	58.8	0.0	0.0	2.9	0.0	0.0	100.0	0.0
	その他	50	42.0	38.0	2.0	6.0	6.0	4.0	2.0	94.0	6.0

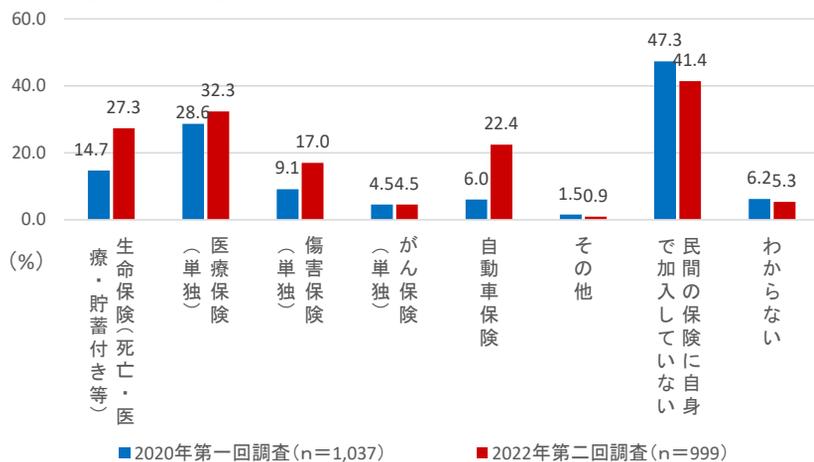
■保険への加入

2 民間の各種保険への加入状況

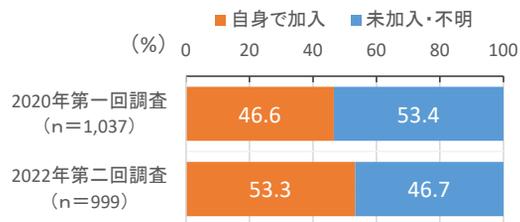
- 民間の各種保険の加入状況をみると、全体では『未加入（民間の保険に自身で加入していない）』（41.4%）の割合が最も高いが、加入している保険では「医療保険（単独）」（32.3%）の割合が最も高く、次いで「生命保険」（27.3%）、「自動車保険」（22.4%）の順であった。
- 第一回調査（2020年）と比較すると、「自動車保険」（+16.4ポイント）や「生命保険」（+12.6ポイント）をはじめ、一般的に加入率が上昇し、全体の加入率も6.7ポイント増の53.3%となり、民間保険加入者が半数を上回っている。
- 居住期間別にみると、民間保険加入率は3年以内居住者では3割弱に留まるが、4年以上になると6割前後が加入している。
- 在留資格別にみると、民間保険加入率は技能や永住者、定住者で8割前後と他に比べて高い。これに対して技能実習や留学生、人文知識・国際業務・技術では加入率が低く、『未加入・不明』が過半数を占めている。また、「生命保険」「医療保険」「傷害保険」「がん保険」の加入率は永住者で他に比べて高く、「自動車保険」は技能や定住者で他に比べて高い。

Q36 民間の保険会社等の各種保険への加入状況

[複数回答]



[加入・未加入（集約）]



居住期間別、在留資格別（2022年第二回調査）

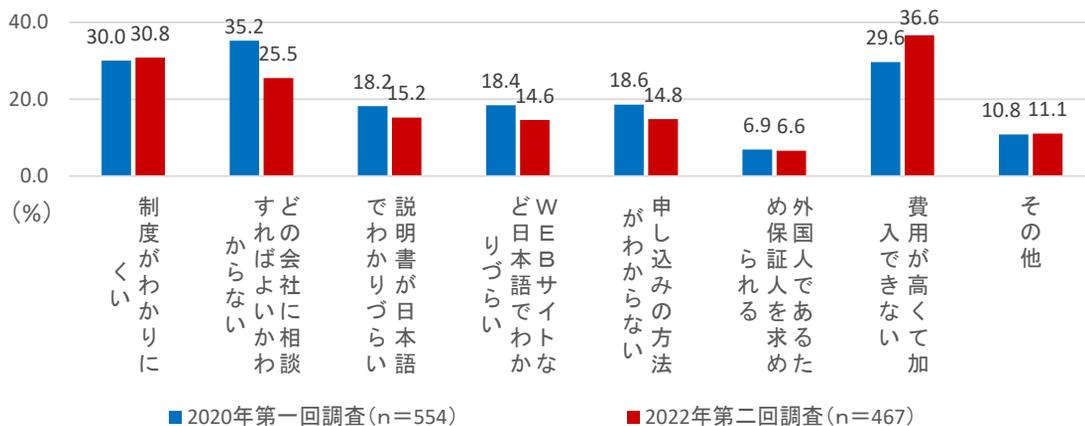
	調査数 (n)	生命保険 (死亡・医療・貯蓄付き等)	医療保険 (単独)	傷害保険 (単独)	がん保険 (単独)	自動車保険	その他	民間の保険に自身で加入していない (%)	わからない (%)	(再掲)		
										自身で加入 (%)	未加入・不明 (%)	
全体	999	27.3	32.3	17.0	4.5	22.4	0.9	41.4	5.3	53.3	46.7	
居住期間	3年以内	229	8.7	15.3	6.6	2.2	4.4	0.4	64.6	7.9	27.5	72.5
	4~9年	562	34.5	40.6	22.2	3.2	29.2	0.4	35.9	5.0	59.1	40.9
	10年以上	208	28.4	28.8	14.4	10.6	24.0	2.9	30.8	3.4	65.9	34.1
在留資格	永住者(特別永住含む)	245	64.5	59.2	44.9	9.4	47.3	1.6	17.1	3.3	79.6	20.4
	留学生	222	8.6	20.7	5.4	-	2.3	-	61.7	7.2	31.1	68.9
	技能実習	23	4.3	8.7	4.3	-	4.3	-	87.0	-	13.0	87.0
	定住者	34	32.4	50.0	5.9	-	64.7	-	17.6	2.9	79.4	20.6
	日本人配偶者等(家族滞在含む)	85	22.4	38.8	7.1	3.5	36.5	2.4	23.5	9.4	67.1	32.9
	人文知識・国際業務・技術	306	14.7	16.0	10.5	4.9	5.9	0.7	53.6	4.9	41.5	58.5
	技能	34	23.5	50.0	-	-	73.5	-	11.8	2.9	85.3	14.7
その他	50	24.0	28.0	14.0	8.0	12.0	2.0	42.0	8.0	50.0	50.0	

■保険への加入

3 民間保険に加入していない理由

- 民間の各種保険に加入していない人に、その理由をたずねたところ、「費用が高くて加入できない」（36.6%）の割合が最も高く、次いで「制度がわかりにくい」（30.8%）、「どの会社に相談すればよいかわからない」（25.5%）の順であった。
- 第一回調査（2020年）と比較すると、「費用が高くて加入できない」の割合は7.0ポイント上昇しているが、その他の理由は「どの会社に相談すればよいかわからない」（▲9.7ポイント）をはじめ、第一回調査を下回っているものが多い。
- 居住期間別にみると、3年以内居住者では「費用が高くて加入できない」（50.0%）の割合が高い。一方、4年以上居住者になると『費用』の割合は3割前後に低下し、代わって「制度がわかりにくい」等の他の理由の割合が高まっている。
- 在留資格別にみると、留学生では「費用が高くて加入できない」（52.9%）の割合が他に比べて高い。

Q37 民間の保険会社等の各種保険に加入していない理由 [複数回答]



居住期間別、在留資格別（2022年第二回調査）

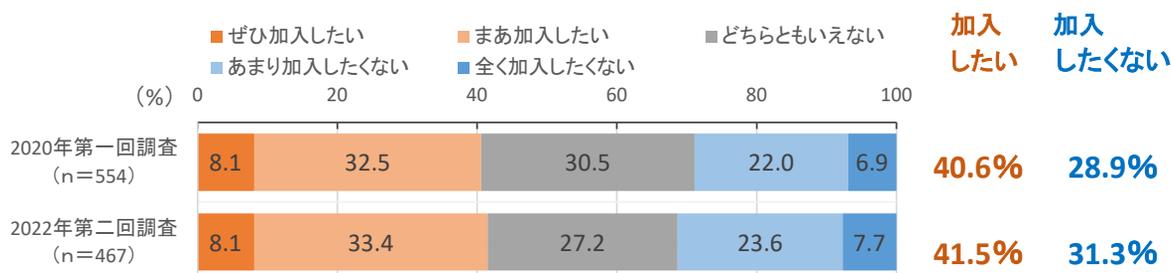
		調査数 (n)	制度がわかりにくい	どの会社に相談すればよいかわからない	説明書が日本語でわかりづらい	WEBサイトなど日本語でわかりづらい	申し込みの方法がわからない	外国人であるため保証人を求められる	費用が高くて加入できない	その他
全体		467	30.8	25.5	15.2	14.6	14.8	6.6	36.6	11.1
居住期間	3年以内	166	19.9	18.1	12.0	13.3	13.3	7.2	50.0	4.2
	4～9年	230	38.7	30.4	18.7	17.4	17.0	7.4	29.6	12.2
	10年以上	71	31.0	26.8	11.3	8.5	11.3	2.8	28.2	23.9
在留資格	永住者(特別永住含む)	50	36.0	20.0	16.0	12.0	10.0	-	32.0	22.0
	留学生	153	21.6	19.0	12.4	13.7	14.4	9.8	52.9	2.0
	技能実習	20	20.0	25.0	30.0	45.0	25.0	-	20.0	-
	定住者	7	57.1	57.1	57.1	42.9	14.3	28.6	42.9	-
	日本人配偶者等(家族滞在含む)	28	35.7	25.0	7.1	7.1	3.6	3.6	25.0	25.0
	人文知識・国際業務・技術	179	34.6	30.7	15.1	12.3	15.6	6.7	29.6	14.5
	技能	5	80.0	20.0	-	-	-	-	20.0	-
その他	25	36.0	32.0	20.0	20.0	28.0	4.0	24.0	20.0	

■保険への加入

4 民間保険未加入者の今後の加入意向

- 民間の各種保険に加入していない人に加入意向をたずねたところ、「まあ加入したい」（33.4%）の割合が3割強と最も高く、次いで「どちらともいえない」（27.2%）、「あまり加入したくない」（23.6%）と続き、加入希望者（ぜひ+まあ加入したい）は41.5%であった。
- 第一回調査（2020年）と比較すると、「どちらともいえない」と態度を保留する人の割合が低下したものの、大きな変化は見られず、第一回・二回調査とも加入希望者は4割程度である。
- 居住期間別では3年以内居住者、在留資格別では留学生で他に比べて加入希望者の割合が高く、半数以上が加入したいと考えている（3年以内居住者：51.2%、留学生：56.9%）。

Q38 民間の保険会社等の各種保険への加入意向



居住期間別、在留資格別（2022年第二回調査）

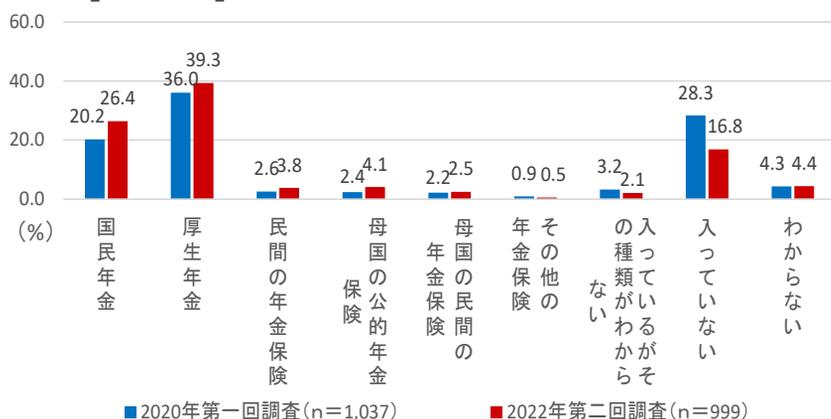
		調査数 (n)	意向 (%)					再掲 (%)	
			ぜひ加入 したい	まあ加入 したい	どちらとも いえない	あまり加 入したくない	全く加入 したくない	加入 したい	加入 したくない
全体		467	8.1	33.4	27.2	23.6	7.7	41.5	31.3
居住 期間	3年以内	166	6.0	45.2	20.5	22.3	6.0	51.2	28.3
	4～9年	230	9.6	28.3	29.6	23.9	8.7	37.8	32.6
	10年以上	71	8.5	22.5	35.2	25.4	8.5	31.0	33.8
在留 資格	永住者(特別永住含む)	50	8.0	26.0	30.0	26.0	10.0	34.0	36.0
	留学生	153	6.5	50.3	20.3	17.6	5.2	56.9	22.9
	技能実習	20	10.0	25.0	30.0	35.0	-	35.0	35.0
	定住者	7	14.3	14.3	57.1	14.3	-	28.6	14.3
	日本人配偶者等(家族滞在含む)	28	7.1	21.4	46.4	10.7	14.3	28.6	25.0
	人文知識・国際業務・技術	179	9.5	26.8	26.3	27.9	9.5	36.3	37.4
	技能	5	40.0	40.0	-	-	20.0	80.0	20.0
その他	25	-	16.0	44.0	36.0	4.0	16.0	40.0	

■年金への加入

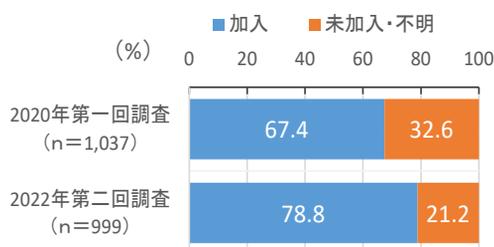
1 年金への加入状況

- 年金の加入状況を見ると、「厚生年金」(39.3%)の割合が4割と最も高く、次いで「国民年金」(26.4%)、「入っていない」(16.8%)の順であり、全体の加入率は78.8%であった。
- 第一回調査(2020年)と比較すると、未加入者(入っていない)の割合が減少し、全体の加入率が11.4ポイント上昇している。
- 居住期間別にみると、年金加入率は3年以内居住者では5割弱に留まるが、4年以上になると9割前後が加入している。
- 在留資格別にみると、年金加入率は留学生では他に比べて『未加入・不明』(69.4%)の割合が高く、7割を占める。

Q40 年金への加入状況 [複数回答]



[加入・未加入(集約)]



居住期間別、在留資格別 (2022年第二回調査)

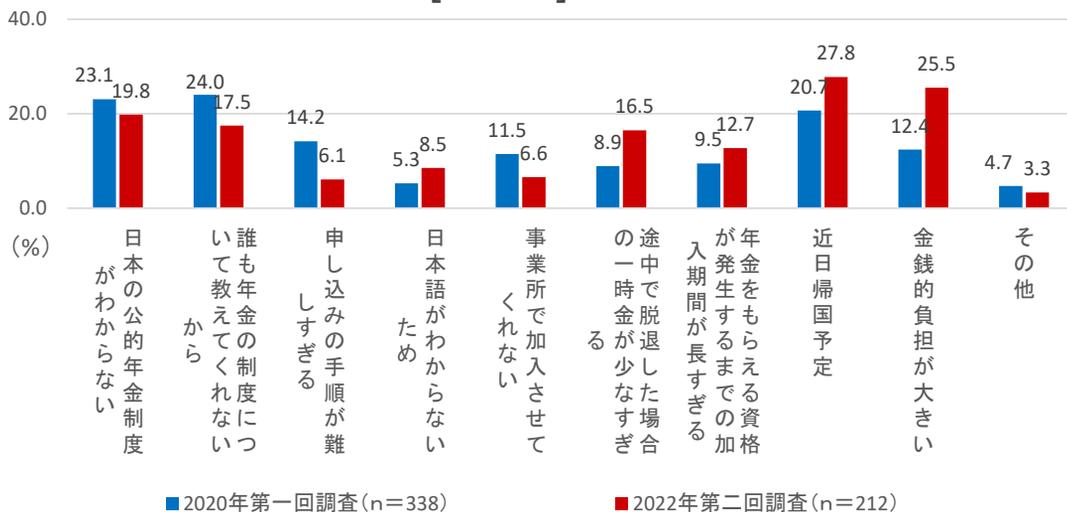
	調査数 (n)	国民年金	厚生年金	民間の年金保険	母国の公的年金保険	母国の民間の年金保険	その他の年金保険	入っているがその種類がわからない	入っていない	わからない	(再掲)	
											加入	未加入・不明
全体	999	26.4	39.3	3.8	4.1	2.5	0.5	2.1	16.8	4.4	78.8	21.2
居住期間	3年以内	15.7	19.2	2.2	3.1	3.5	1.3	3.9	43.7	7.4	48.9	51.1
	4~9年	34.9	37.9	4.4	3.4	2.7	0.2	1.8	10.9	3.9	85.2	14.8
	10年以上	15.4	65.4	3.8	7.2	1.0	0.5	1.0	3.4	2.4	94.2	5.8
在留資格	永住者(特別永住含む)	55.9	35.1	2.4	1.6	0.4	0.4	0.8	1.2	2.0	96.7	3.3
	留学生	14.0	6.3	2.3	3.2	2.7	0.5	1.8	59.5	9.9	30.6	69.4
	技能実習	17.4	43.5	-	4.3	13.0	-	4.3	13.0	4.3	82.6	17.4
	定住者	23.5	44.1	23.5	-	-	-	-	2.9	5.9	91.2	8.8
	日本人配偶者等(家族滞在含む)	30.6	45.9	5.9	2.4	2.4	-	3.5	5.9	3.5	90.6	9.4
	人文知識・国際業務・技術	14.1	62.7	2.6	6.9	3.3	0.7	2.6	4.2	2.9	92.8	7.2
	技能	5.9	58.8	14.7	8.8	2.9	-	5.9	-	2.9	97.1	2.9
その他	26.0	34.0	2.0	6.0	4.0	2.0	2.0	22.0	2.0	76.0	24.0	

■年金への加入

2 年金に加入していない理由

- 年金に加入していない人に、その理由をたずねたところ、「近日帰国予定」(27.8%)の割合が最も高く、次いで「金銭的負担が大きい」(25.5%)、「日本の公的年金制度がわからない」(19.8%)の順であった。
- 第一回調査(2020年)と比較すると、「日本の公的年金制度がわからない」や「誰も年金の制度について教えてくれない」「申込手続きが難しすぎる」「事業所で加入させてくれない」といった、制度の理解や手続きに関する理由の割合は低下しているが、代わって「金銭的負担が大きすぎる」「途中で脱退した場合の一時金が少なすぎる」などの金銭的なデメリットに関する理由等の割合が上昇している。

Q37 年金に加入していない理由 [複数回答]



居住期間別、在留資格別 (2022年第二回調査)

		調査数 (n)	日本の公的年金制度がわからない	誰も年金の制度について教えてくれないから	申し込みの手順が難しすぎる	日本語がわからないため	事業所で加入させてくれない	途中で脱退した場合の一時金が少なすぎる	年金をもらえる資格が発生するまでの加入期間が長すぎる	近日帰国予定	金銭的負担が大きい	その他	
全体		212	19.8	17.5	6.1	8.5	6.6	16.5	12.7	27.8	25.5	3.3	
居住期間	3年以内	117	14.5	12.0	1.7	7.7	5.1	9.4	4.3	36.8	31.6	2.6	
	4~9年	83	28.9	20.5	13.3	9.6	7.2	25.3	21.7	18.1	15.7	3.6	
	10年以上	12	8.3	50.0	-	8.3	16.7	25.0	33.3	8.3	33.3	8.3	
在留資格	永住者(特別永住含む)	8	12.5	37.5	-	-	12.5	12.5	12.5	-	37.5	12.5	
	留学生	154	18.8	14.3	4.5	3.9	4.5	18.2	13.0	29.9	22.7	2.6	
	技能実習	4	-	-	50.0	50.0	25.0	-	-	25.0	25.0	-	
	定住者	3	33.3	33.3	33.3	33.3	-	33.3	33.3	-	66.7	-	
	日本人配偶者等(家族滞在含む)	8	37.5	62.5	-	25.0	-	12.5	25.0	25.0	37.5	12.5	
	人文知識・国際業務・技術	22	18.2	18.2	9.1	18.2	18.2	13.6	9.1	22.7	27.3	4.5	
	技能	1	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-
	その他	12	33.3	16.7	8.3	16.7	8.3	8.3	8.3	41.7	33.3	-	

■サーベイリサーチセンター 会社概要

- 会社名 : 株式会社サーベイリサーチセンター
- 所在地 : 東京都荒川区西日暮里2丁目40番10号

- 設立 : 1975 (昭和50) 年2月
- 資本金 : 6,000万円
- 年商 : 97億円 (2021年度)

- 代表者 : 代表取締役 藤澤 士朗、長尾 健、石川 俊之
- 社員数 : 社員305名、契約スタッフ435名 合計740名 (2022年4月1日現在)
- 事業所 : 東京 (本社)、札幌、盛岡、仙台、静岡、名古屋、大阪、岡山、広島、高松、福岡、熊本、那覇

- 主要事業 : 世論調査・行政計画策定支援、都市・交通計画調査、マーケティング・リサーチ

- 所属団体 : 公益財団法人 日本世論調査協会
一般社団法人 日本マーケティング・リサーチ協会 (JMRA)
日本災害情報学会
一般社団法人 交通工学研究会 他

- その他 : ISO9001認証取得 (2000年6月)
プライバシーマーク付与認定 (2000年12月)
ISO20252認証取得 (2010年10月)
ISO27001認証取得 (2015年11月) ※

※認証区分及び認証範囲 :

- ・MR部及びGMR部が実施するインターネットリサーチサービスの企画及び提供
- ・全国ネットワーク部及び沖縄事務所が実施する世論・市場調査サービスの企画及び提供

■本件に関するお問合せ先

株式会社サーベイリサーチセンター <https://www.surece.co.jp/>

- 広報担当 : 松下 正人 E-mail : src_support@surece.co.jp
品質部
TEL : 03-3802-6779 FAX : 03-3802-6729

- 調査担当 : 石川 俊之 E-mail : ishi_t@surece.co.jp
岩崎 雅宏 E-mail : iwa_m@surece.co.jp
堤 彰子 E-mail : tsutsumi@surece.co.jp
営業企画本部
TEL : 03-3802-6727 FAX : 03-3802-7321

- 調査結果の引用にあたっては、調査主体名として「株式会社サーベイリサーチセンター」を必ず明記して利用してください
- 調査結果の無断転載・複製を禁じます
- 本紙に記載している情報は、発表日時点のものです